

# 山巔毛(さんていんもー)と白銀堂

沖縄県・糸満市



山巔毛

白銀堂



糸満市では毎年旧暦の5月4日に、『糸満ハーレー』という大漁と航海安全を祈願する糸満漁師の伝統行事が行われる。現在の漁ではほとんど使用されることがなくなったサバコと呼ばれる昔ながらの木造船に、12名（御願ハーレーは13名）のハーレーシンカ（乗り手）が乗り込み競漕する。

山巔毛は糸満の市街地にある標高約25mの岩丘で、糸満ロータリーの北側に位置する。かつては、海に面する岬状の丘であり、埋め立てによって内陸部に位置するようになったが、航路や漁場を選定する山当ての際の目印に利用されてきた。また、糸満漁師が異郷で遭難し死亡した時などの選葬所でもあった。

ハーレーの1週間前には、山巔毛でハーレー鉦が打ち鳴らされる。この鉦が鳴ると梅雨も明け、本格的な夏の到来を告げると言われる。ハーレー開始前には山巔毛で南山ノ口、糸満ノ口、ハーレーに参加する三村（西村・中村・新島）の代表者等が参列して、グルウグワンと呼ばれる、これまでの感謝とハーレーが無事に終わることを海の神に祈る儀式が行なわれる。競漕は丘の上で振られる旗でスタートし、競技が終わると、ハーレーシンカは1位のチームを先頭にして糸満の氏神である白銀堂へ向かい、そこで競技の報告をする。まず1位のチームがノ口から勝利の祝杯を受けた後、堂前で円陣を作り、ウェーク（櫂）を持ち、ハーレー歌を歌いながら3周、鉦も打ち鳴らす。2位、3位も同様である。

## TOPICS

- ・糸満ハーレー 旧暦5月4日 開催
- ・特産品：かまぼこ（チキアギ、コンセット、くがに丸）

## お問い合わせ先

糸満市海人課

TEL / 098-840-8247

URL / <http://www.city.itoman.okinawa.jp/>

## 【交通】

バス / 那覇バスターミナルから約30分

